

令和3年度事業報告総括

令和3年度、唐津市社会福祉協議会は、「第3期組織・経営基盤強化計画」に基づき、さらなる経営基盤の強化と住民から信頼される社協を目指し各事業を実施しました。

佐賀県に甚大な被害が出ました「令和3年8月大雨災害」では、県内各地に開設された災害ボランティアセンターに延べ42名の職員を派遣し、被災された方々の支援を行いました。また、新型コロナウイルス感染症が長期化し、社協事業の一部では規模の縮小や中止を余儀なくされるなど大きな影響が生じましたが、福祉サービスを必要とする人びとへの支援を継続し、利用者や地域住民の安全・安心な生活を支え続けました。

<社会福祉事業 法人事業拠点区分>

「第3期唐津市社会福祉協議会組織・経営基盤強化計画」の計画の進捗と成果を確認しつつ、本会組織の強化を目指し、事業実施に取り組みました。

また、直近の労働関係法令等の改正に伴い、就業規則等関連する諸規程を整備しました。併せて職場環境の改善を推進するとともに、会計監査人の監視・指導によりガバナンス及び財務規律の強化を図りました。

<社会福祉事業 地域福祉事業拠点区分>

・新型コロナウイルス感染症対策により活動が制限され、事業内容によって規模縮小または中止を行いました。サロン活動など地域住民の交流機会が少ない中で、人とのつながりを保つため、地区ごとの研修会や各地域協議体で、見守り等安否確認の方法や生活支援の手段等を検討しました。主に高齢者の在宅生活を支援する、地域住民による「生活支援ボランティア」の実施を新たに2地区立ち上げ、既存の地区では支援活動での課題を検討、また他の地区においても実施に向けた準備を進めているところです。地域で健康づくりを続けたいと自主的に集まって活動している介護予防体操グループを訪問し、継続できるよう感染対策の助言や機材貸出、交流の支援を行いました。

またコロナ対策による休業や離職等で生計維持が困難になった方からの貸付相談が3,300件以上寄せられ、緊急小口資金および生活再建のための総合支援資金貸付の対応を行い、またフード♥エイド事業として市内外の個人や事業者・団体から寄せられた食糧寄付を、相談者の状況に応じて提供し支援を行いました。

・本所、支所合わせて53か所の放課後児童クラブを受託運営し、昼間留守家庭の児童の主体的な遊びや生活が可能となるよう支援を行うとともに、児童館・児童センターにおいては、主催教室を開催し来館児童の受け入れ増加と能力向上に資するなど、児童の健全育成に努めました。

また、新型コロナウイルス感染症緊急対策として、育成環境改善対策事業を行い、マスク、消毒液等を購入し、感染予防に努めました。

・唐津市生活自立支援センターでは、市の委託を受けて関係機関・団体等と連携しながら自立相談支援事業、住居確保給付金、家計改善支援事業、就労準備支援事業を実施し、生活困窮者の経済的及び社会的な自立を支援しました。

- ・ボランティア推進事業は、コロナ感染拡大に伴いボランティアのマッチング業務やボランティアの養成講座等を思うように行えなかった中でコロナ禍でも地域活動が行えるよう「消毒を知ろう」と題しボランティア講座を実施しました。

さらに、福祉のまちづくりを推進するため小・中・高校を対象とした福祉体験講座を実施し子ども達への福祉教育に努めました。また、福祉サービスとして車椅子等の福祉用具の貸出を行いました。

<社会福祉事業 介護保険等事業拠点区分>

介護保険サービスでは、地域密着型介護サービスのプラットフォーム、グループホームおうか・きりご、ひぜん荘、ふれあい館、なないろの地域に根ざした施設運営を行うとともに、居宅介護支援、訪問介護等の居宅介護サービスの実施により高齢者の在宅介護を推進しました。

介護職員の正職員化他の処遇改善や職場環境改善にも取り組みました。併せて新型コロナウイルスの感染予防を心掛け、利用者様が安心できる持続可能な介護事業を推進しました。

また、一般の高齢者を対象とした健康づくり事業等を受託し、高齢者福祉・介護予防の推進に努めました。

<社会福祉事業 保育園事業拠点区分>

健全で持続的な保育園運営を行うため、保育士等の確保を図り入所児童の受け入れに努めるとともに、積極的に地域行事に参加し、地域との交流・連携を図りました。

保育園の建設では、佐志保育園の旧園舎解体外構工事を実施しました。佐志保育園新園舎建設に伴い定員を60名から80名へ増員するとともに、青葉保育園の定員については現状を勘案し、170名から150名へ改定を行いました。

また、新型コロナウイルス感染症緊急対策として、保育環境改善対策事業を行い、マスク、消毒液等を購入し、感染予防に努めました。

<公益事業 法人後見事業拠点区分>

認知症、精神障がい、知的障がいなど意思決定が困難な方の受け皿として平成30年度より事業を開始し、今年度延べ3名を受任し事業を行いました。

なお、各部署における事業報告の詳細は、次頁以降のとおりです。